一次締切：2024 年 3 月 27 日（水）
二次締切：2024 年 4 月 17 日（水）

第11回
『科学・技術とヒューマニティ』

懇話会テーマ

生成型ＡＩの可能性と課題

古典、参加者相互、そして自己との対話を通して、現代の科学・技術に関するテーマを深く考える「科学・技術とヒューマニティ」セミナーのご案内です。

今回のセミナー中の懇話会では、「生成型 AI の可能性と課題」というテーマのもと、第１日は、国立情報学研究所所長・京都大学特定教授の黒橋 禎夫 氏、第２日は、立教大学大学院人工知能科学研究科教授の村上祐子氏をお迎えし、ご講話いただく予定です。

セッションのテキストを含めて、広く科学・技術に興味・関心のある方が対象となります。専門、専門外に関わらず、ぜひともご参加をご検討下さいますようお願い申し上げます。

プログラム・ディレクター　兼　モデレーター

村上 陽一郎　先生

東京大学名誉教授（科学史家、科学哲学者）
一般社団法人日本アスペン研究所副理事長

【開催日】　2024 年５月 24 日（金）～5 月 26 日（日）

【会　場】　クロス・ウェーブ府中
〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-40　https://x-wave.orix.co.jp/fuchu/

【科学・技術とヒューマニティ・セミナーの企画の背景】

「エグゼクティブ・セミナー」、「ヤング・エグゼクティブ・セミナー」の卒業生から、「古典に学ぶ」対話の次の段階を求める声も多く聞かれます。本セミナーは、そのような皆さまからの要望に応えると共に、過去のアスペン・セミナーに参加しておられなくても科学・技術の意思決定に関わる立場の方々を意識して構成したセミナーです。

【スケジュール】（予定）

	1 日目 5月24日(金)	2 日目 5月25日(土)	3 日目 5月26日(日)
午前の部	10:50～12:10 オープニング･セッション	8:30～12:25 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30～12:25 セッションⅢ 「科学・技術と社会」
	12:10～12:50 昼食		12:25～13:15 昼食
午後の部	12:50～16:30 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	12:25～16:30 昼食および自主研修	13:15～15:30 総括セッション
	16:50～18:50 懇話会Ⅰ	16:30～18:30 懇話会Ⅱ	
	19:00～20:00 夕　食	19:00～20:00 夕　食	

【第 11 回の展望】

北村薫さんの小説に出てくる話である。主人公の女子学生（早稲田の学生らしい）が卒論を書く段になって、コンピュータに、キーワードを幾つか入れて相談してみた。何とも珍妙な文章が出てきて、最後に指導教授への感謝の言葉を忘れずに、という但し書きがあった、という。実話だろう。今は、珍妙さのない、まっとうな現実として考えなければならない時代である。実際話題の ChatGPT でなくとも、マイクロソフトの Bing も含めて、問題解決型の AI が簡単に利用できる。便利この上ない。しかし、その便利さだけに埋まっては、どうにもならない問題が、山積しているのでもある。生成型 AI に何が出来るか、という問に、今の段階では全面的な回答はないともいえ、それだけに、今何をすべきか、も答えは出難い。とにかく、衆知を集めて考え、判断し、行動する以外に途はない。この三日間のセミナーが、そうした機会の一つとなることを、オーガナイザーとして心から念じている。

（村上 陽一郎 先生 記）

【懇話会 Ⅰ】

講演者： 黒橋 禎夫（くろはし さだお）先生

（国立情報学研究所 所長・京都大学 特定教授）

1994 年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。
2006 年 4 月より京都大学大学院情報学研究科教授。2023 年 4 月より同特定教授および国立情報学研究所長を併任。自然言語処理、知識情報処理の研究に従事。言語処理学会 10 周年記念論文賞、同 20 周年記念論文賞、文部科学大臣表彰科学技術賞等を受賞。

講演題目： 生成 AI の仕組みと社会へのインパクト

要旨： ChatGPT を始めとする生成 AI の「賢さ」が世間の注目を集めている。ChatGPT などの生成 AI，特に大規模言語モデル（LLM）が生み出された技術的背景を説明し、その社会へのインパクトを議論する。また、オープンで日本語に強い LLM を構築する組織横断プロジェクト、LLM-jp の活動を紹介する。さらに、LLM が分野横断の知の創造を支援し、複合的な社会課題の解決やイノベーションの創出をもたらす「知識基盤」時代の到来を展望する。

【懇話会 Ⅱ】

講演者： 村上 祐子 （むらかみ ゆうこ） 先生

（立教大学大学院人工知能科学研究科教授）

Ph.D (philosophy, Indiana U).
国立情報学研究所、東北大学を経て現職。応用哲学会会長、日本哲学会理事・欧文誌編集委員長、科学基礎論学会理事、日本科学哲学会理事。電気情報通信学会技術と社会・倫理研究会専門委員、IEEE Society on Social Implications of Technology 日本チャプター。

講演題目：誰も取り残さない社会へのサイボーグ

要旨：生成 AI に限らず、技術は人間も環境も変える．もはや私たちは技術をはじめとする社会基盤によって強化されたサイボーグなのだ。だがこの技術への依存度は社会の内部でまだらで、教育によっても、どうしても自分では使えない人が残るのは必至だ。それでもすべての人が技術の恩恵を享受できるような社会をどう作っていくのか、技術を上手に使える人の側が考えていかなければいけない。

【モデレーター／リソースパーソン】（順不同）

村上 陽一郎 先生（東京大学名誉教授・国際基督教大学名誉教授）

小林 傳司 先生　（大阪大学名誉教授、科学技術振興機構社会技術研究開発センター長）

藤山 知彦 氏　　（科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー）

高山 千弘 氏　　（エーザイ株式会社ナレッジクリエーション・フェロー）

村上先生

小林先生

藤山氏

高山氏

【テキスト】

カント『啓蒙とは何か』／ホワイト『機械と神』／シャルガフ『ヘラクレイトスの火』／プラトン『国家』／トクヴィル『アメリカのデモクラシー』／オルテガ『大衆の反逆』より「専門家の野蛮性」／ 福沢諭吉『学者の職分を論ず』／ウェーバー『職業としての政治／職業としての学問』／スノー『二つの文化と科学革命』／シュレーディンガー『生命とは何か』／ブッシュ『科学ーこの限りなき前線』／小林傳司『トランス・サイエンスの時代』などの作品から抜粋した全 14 テキスト

※テキストは本セミナーのために厳選しましたので、他のセミナーのテキストとは異なります。

【対 象】　企業、行政、NPO など広い分野から、役員・管理職・次世代のリーダー候補の参加者を募ります。ただし対話という性質上、**原則 20 名**を限度とさせていただきます。

【参加料金】　**正会員企業、フェローズ会員　：　30 万５千円/人**
賛助会員企業、アスペンセミナー卒業生：　32 万８千円/人
非会員企業　：　35 万円/人　（各税別）

【お支払方法】　参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振込みください。

【申込締切日】

- 一次締切：3月27（水）　　二次締切：４月17日（水）

【参加確定について】

- 一次締切の翌営業日もしくは翌々営業日に参加確定の通知をメールいたします。
- 参加者ご派遣の意向があり、該当者がまだ確定していないという場合、ご予約を受付けます。一次締切以降も、二次締切迄の予約の継続は可能ですが、予約継続中に予約をリリースされた場合は、予約リリース料を申し受けます。
- 一次締切以降は、申込みと予約以外の残席について、定員に達するまで、もしくは二次締切まで、先着順で受付け、順次参加確定の通知を差し上げます。

※ 一次締切の時点で予約も含めて定員を超えた場合は、会員企業様を優先いたします。

【テキスト送付時期】　参加確定の通知の際にお知らせします。

【キャンセルについて】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

【キャンセル料金】

参加確定後	￥30,000（税別）
セミナー開催 45 日前～開催８日前（開催日初日を含まず起算）	参加料金の３割（税別）
セミナー開催７日前～開催２日前（開催日初日を含まず起算）	参加料金の４割（税別）
開催日前日および開催日当日	参加料金の５割（税別）

※参加確定通知後テキスト未発送の場合は、2万円（税別）を申し受けます。

【予約リリース料金】

一次締切日以降に予約を取り消した場合は予約リリース料 2 万円（税別）を申し受けますので、ご了承ください。

【開催中止の場合】

セミナーへの参加お申込人数が原則 12 名に満たなかった場合、または、台風等の自然災害時に交通機関の運行状況等を考慮した結果、やむを得ずセミナーを中止する場合がございます。中止を決定した場合には、すでにお申込みいただきましたお客様には速やかにご連絡を申し上げ、ご入金された受講料を返金させていただきます。

参加ご希望の方は、添付の申込書にて、必要事項をご記入の上

電子メール kg-s@aspeninstitute.jp　または　FAX： 03-3405-1668

にてお申込み下さい。

原則定員は、モデレーター、リソースパーソンを含め最大 20 名とさせていただきます。

参加の可否につきましては、申込み締切後にご連絡致します。

※　本ご案内は、会員企業と過去のアスペン・セミナー参加者の皆さまにお送りしておりますが、どなたでもご応募いただけます。

※　万が一お申込み多数の場合は、会員企業からの派遣を優先させていただきます。

※　また、同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

詳しくは日本アスペン研究所セミナー事務局に、できればメールにてお問合わせください。

一般社団法人日本アスペン研究所（三村）
〒106-0032　東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル２階
TEL: 03-6438-9208
E-mail：　mimura@aspeninstitute.jp　/ FAX: 03-3405-1668